

4 小学校編

(1) 各教科の結果・分析の概要

【国語】

話し手が伝えようとしている内容を正しく聞く力、登場人物の気持ちを想像しながら読む力、筆者が説明している内容について正しく読む力、漢字を正しく読む力や接続語、敬語の使い方に関する正しい理解などが身に付いている。

事実と意見の関係をとらえて読み、筆者の意見を要約する力や、目的や様式に応じて書く必要のある事柄を選ぶ力、文章や資料、グラフや図表等を読んで考えたことを、根拠や理由を明らかにして決められた字数で書く力などは、今後一層高めていく必要がある。

【社会】

産業や歴史に関する基礎的な事項や用語、社会的事象の意味などはおおむね理解できている。また、絵資料から事実を見付けたり、グラフから正しく数値を読み取ったりするなど、基本的な資料を読み取る力はおおむね身に付いている。

複数の資料から読み取ったことを比較・関連付け・総合しながら自分の考えを記述する力、歴史上のできごとが起きた場所を地図に表したり、人物の関係を図に表して説明したりする力などを一層高めていく必要がある。また、明治時代以降の学習を充実する必要がある。

【算数】

小数や分数の計算技能、多角形の角の大きさの和や立体の体積の求め方を考える力、数量の関係を式で表す力、平均や比を利用して問題を解く力はおおむね身に付いている。また、展開図を組み立てたときの頂点や面の位置関係はおおむね理解できている。

既習の図形に帰着して工夫して面積の求め方を考える力、生活の場面で二つの図形を見いだして面積の大小を考える力、二つの数量の変化の仕方を考える力、展開図を組み立ててできる立体の名称の理解などは、今後一層高めていく必要がある。

【理科】

花のつくりや地層の分布の仕方など基本的な内容はよく理解されている。また、安全に水溶液のおおいを調べたり、結果をグラフに表したりするなどの観察・実験の技能、実験結果を整理した表を基にだ液の動きを考察するなどの科学的な思考力は、おおむね身に付いている。

消化という言葉や、川の流れが曲がるところの内側と外側の水の流れの速さの違いについての理解や、条件を制御して観察、実験を行う力、観察、実験の結果から種子の発芽の条件について考察し、適切に表現する力を今後一層高めていく必要がある。